Photo news 身近な出来事をお届け

吹雪にも負けじと力走を見せる
黒姫高原クロスカントリースキー大会

1月19日、黒姫高原童話の森スノーウェーブで、第34回黒姫高原クロスカントリースキー大会が開催されました。今年の大会には445 人がエントリー。町内からも17人がエントリーし、6人が入賞と活躍しました。吹雪の厳しいコンディションでしたが、コーチや親御さんが熱心に応援するなか、選手たちは黒姫高原を全力で駆け抜けました。

正月行事をみんなで楽しむ
道の駅しなののもちつき大会

1月13日、上信越道信濃町ICに隣接する「道の駅しなの」で、お正月恒例のもちつき大会が開催されました。晴天に恵まれ、北信五岳を背景にたくさんの親子連れが訪れ、にぎわいを見せていました。子どもたちはきねを振るって、おもちつきをして正月気分を味わいました。おもちがつきあがると、参加者や観光客に振る舞われ、親子でおいしそうに食べていました。

今年一年の無病息災を願う
各地区で行われた伝統行事「どんど焼き」

新春の伝統行事「どんど焼き」。今年も各地区で盛大に行われました。それぞれの家から持ち寄った松飾り・注連縄（しめなわ）・だるま・書き初めなどが積み上げられ、点火すると勢い良く火柱が立ちました。その後、弱まった火で、持ち寄ったまゆ玉やおもちを焼いて食べ、一年間の無病息災を願いました。（写真は1月13日、落影地区のどんど焼き）

災害時の避難所運営を考える
災害ボランティア講座開催

1月17日、阪神・淡路大震災発生から19年目を迎えました。社会福祉協議会では、大震災の教訓を活かすために、災害ボランティア講座を開催しました。今回は、災害時の避難所運営を考える「避難所運営ゲームHUG」を体験しました。避難者の情報が書かれたカードを、避難所に見立てた図に、適切に配置できるかを模擬体験するゲームです。大規模災害が発生時した場合、町職員も同じ被災者となり、住民の協力がなくては避難所運営は困難です。参加者は意見を出し合いながら、真剣にゲームを進めていました。

地域防災の力強い新戦力
消防団第三分団の車両を更新

1月15日、消防団第三分団のポンプ車が役場に納入され、松木町長から第三分団柳澤光照分団長にキーとともに引き渡されました。今回導入の車両は、オートマチック車で、オートマチック限定免許を所持した団員でも運転ができ、大幅に向上したポンプ性能、LED化された赤色灯などを備えた最新式の車両です。ポンプ車は、平成7年購入で前回の更新から18年がたち、老朽化が進んでいたため今回の更新となりました。緊急時の活躍が期待されます。

冬を楽しむ子どもたち
古間保育園の雪遊び

1月20日、古間保育園を訪れると、雪が積もっている園庭で園児たちが、はしゃぎまわる姿が見られました。園児たちは、園舎と園庭をつなぐ土手の斜面を利用した雪のすべり台をそりで滑り降り、大はしゃぎしていました。また、先生が作ってくれた雪のかまくらに入ってみたり、雪だるまづくりやお家ごっこ遊びをして、寒さも忘れて遊び回っていました。子どもたちにとっては、寒い冬も楽しい体験のようです。

駅伝で酒井雅喜（さかいまさよし）さん区間賞の走り
第64回、全国高等学校駅伝競走大会

12月22日に京都市で行われた第64回全国高等学校駅伝競走大会に出場し区間賞を獲得した酒井雅喜さん。12月28日、結果報告に役場を訪問し、松木町長、静谷教育長、NPO法人信濃町スポーツ企画サービスの牧野さんが出迎えました。酒井さんは荒瀬原出身で、佐久長聖高等学校3年生。松木町長から「大学に行って箱根での活躍を期待しています」と激励され、酒井さんは「大きな大会で良い成績を残せたのは、これからの自信につながります。これから町へも恩返しをしていきたいです」と語りました。

※掲載された写真のデータをご希望の方は、記録媒体（CD－R／USBメモリなど）をご持参のうえ、総務課庶務係広報担当まで。（ただし、ご本人に限ります）